



季節を知ったら  
暮らしが楽しくなった

〔第三六七号〕

しゅんぶん  
春分

三月二十一日

## 陽光桜

暑さ寒さも彼岸まで。春の彼岸は二十四節気の春分にあたります。

この頃、そろそろ気になるのが桜の開花です。春の使者の訪れを待つ気持ちが高まりますが、ソメイヨシノより一足早く花を咲かせる陽光桜という桜を、玉城町在住の染色家・高野葉さんに教えてもらいました。

鮮やかなピンク色の花を咲かせる陽光桜は、愛媛県で教員をしていた故・高岡正明さんが三十年もの年月をかけて品種改良し、生み出した桜です。日本のアマギヨシノと台湾産のカンヒザクラを交配した園芸品種で、一九八一年に品種登録されました。その思いは、先の戦争で多くの教え子を亡くした高岡さんの鎮魂の気持ちと平和を祈念するものでした。そのため亜熱帯のジャワ島から極寒のシベリアまでさまざまな気候の地でも咲く適応能力が高い品種を作りたいと、私財を投じて研究しました。切々とした取り組みは映画化されたほどです。

高岡さんとその息子さんは国内外に苗木を送り、各地でその花を咲かせています。三重県では、志摩市の横山展望台・創造の森横山で苗木が大きく育ち、毎年花を咲かせています。そして、伊勢神宮にも以前に高岡さん本人が献納していたことがわかりました。神宮司庁に問い合わせると、一九八四年に献納された陽光桜は、内宮の宇治橋を渡り、まっすぐ進んだところにある衛士見張所の向いに植樹されていました。しかし、残念ながら、枯れてしまい、撤去されていました。昨年三月二十六日に撮影した方によると、「陽光桜は人間の肩くらいで幹がぼつきり折れて、細い枝にかりうじて花をつける程度だった」と教えてくれました。陽光桜の最後の姿を写真で拝見しました。ひよろりと伸びた一枝に花を三十近く咲かせていました。花の色はきれいなピンク色をしていました。

文 千種清美



# おかげの里便り

## おかげ横丁

### ○『五十鈴川桜まつり』

春になると、山の神様が桜の木に宿り花を咲かせる…  
そう考えた昔の人々は、「花見」という宴を開いて、神様とともに喜び、豊作をお祈りしたと言います。  
五十鈴川の桜と一緒に、日本人の習いと楽しみを受け継いだ桜まつりで、うらかな春のひとときをお過ごし下さい。

と き／3月30日(水)～4月5日(火) 10:00～17:00

ところ／五十鈴川河川敷周辺・おかげ横丁一帯

※雨天時は、内容を一部変更または中止する場合がございます。

### ● 春の奉納芸能「ジャズと桜」

人と桜を揺らすジャズのスイング。  
慶應義塾大学ライトミュージックソサエティによる「春」「桜」をモチーフにしたジャズの調べをお楽しみください。

と き／3月30日(水) 13:30～、31日(木) 11:30～、13:30～

ところ／「五十鈴川野遊びどころ」特設舞台

料 金／無料

出 演／慶應義塾大学ライトミュージックソサエティ

### ● 春の奉納芸能「邦楽の宴」

邦楽界の実力派が、日本の心に触れる演奏を披露します。

と き／4月2日(土) 14:30～、3日(日) 12:30～

ところ／おかげ横丁「太鼓櫓」

料 金／無料

出 演／稲葉明德【箏(ひちりき)】、友吉鶴心【薩摩琵琶】

お問い合わせ／おかげ横丁総合案内「おみやげや」電話0596-23-8838

※新型コロナウイルス感染拡大予防のため、内容の一部または全体を中止する場合があります。

## 五十鈴塾

### ○『絵巻物を読む～信貴山縁起と北野天神縁起～』

絵巻物から昔の人々の生き方や暮らしぶりを知る講座、今回は信貴山縁起絵巻と北野天神縁起絵巻です。

信貴山縁起は平安時代末期のもので国宝に指定されています。

お話は信貴山中興の祖といわれる命蓮の霊験譚です。

内容は倉が空を飛ぶ巻、醍醐天皇の病氣平癒の巻、尼公と命蓮の再開の巻の3つで、人物の躍動感あふれる様子が日本のマンガのルーツとも言われています。

北野天神の方は鎌倉時代の作で菅原道真の栄華と左遷、怨霊による天変地異とそれを鎮めるための北野天満宮の創建を描いたものでこちらも国宝に指定されています。

穏やかであった道真が怨霊と化して災いをもたらす場面の迫力、恐れ逃げ惑う貴族たちなどから読み取れるものは何でしょう。

と き／3月29日(火) 18:30～20:00

講 師／神崎 宣武(民俗学者・五十鈴塾塾長)

参加費／一般 1,700円 会員 1,200円

場 所／五十鈴塾右王舎

講座についてのお問い合わせ・お申込み／電話0596-20-8251

※新型コロナウイルス感染拡大予防のため中止となる可能性があります。

## 五十鈴茶屋

### ○『節気菓子』

おう か 伊勢路は桜の名所。  
桜 香 咲く様も散るさまも美しく、いにしえより愛されてきた桜の花。  
ほのかに漂う香りも楽しみの一つです。

の 是るか昔から、人々の楽しみであった春の野遊び。  
野あそび 五十鈴川端に、たくさんの若草が茂るこの季節をよもぎの草餅で表現しました。

はる かわ 五十鈴川の流れて目をやれば、ほんのりと水面が桜色に染まります。  
春の川 桜あんを葛寒天で包み、美しい景色を写しました。